

2020年度 第4回かつしか社会福祉士会役員会 議事録

日時：2020年12月17日（木）19：00～20：10

方法：zoom 会議

参加者：和賀井、小暮、大淵、金杉、篠塚、福田、迫間、新美 計8名（敬称略）

作成者：新美

1. 葛飾総合高校授業について（和賀井会長）

- ・原田小学校出前講座はコロナ禍により出前は中止。生徒向けに動画を撮って観てもらおう形に変更。車椅子の人、白杖をつく視覚障害者、杖歩行の高齢者にそれぞれ出会ったらどう対応したらよいかという内容の動画を撮ってUPする。今年の授業は終わり。年明けは1/5から開始。
- ・つながりの会サロンの動画も撮ったが、未だにUPされていない。動画のUPは先生が対応するのか業者に依頼しているのか不明だが都立高校のIT対応の限界を感じた。
- ・昨年度の授業を担当した会員へ。割り振られた報酬を振り込むのでまだの方は和賀井会長まで振込先の口座番号を教えてください。
- ・今年度は和賀井会長の出る回が多かったため、福祉総合基礎（科目ごとの授業）も学校側から早めに予定を教えてください分担できるようにしましょうという意見あり。学校側とも和賀井会長以外の担当者のみのお出席でもよいという話になっており、後日和賀井会長が出勤簿に印を押す形で対応可。福祉総合基礎については担当教諭から年表の丸暗記的な内容があった部分について気になった旨の意見あり。資料を直すのは大変だが少しずつ変えていけるとよい。プロジェクターは高校にあるのでノートパソコンだけ持参すればよい。

2. 11月定例会（初のZoom開催）の振り返り（和賀井会長）

- ・Zoomに詳しい人の手助けが必要だったため、ばあとなあで最も詳しい加瀬さんにオペレーションしてもらった。加瀬さんは自分の勉強にもなるのでとこ快く引き受けてくれている。交通費だけでも出してあげたい。
- ・マイクスピーカーフォンについては、和賀井会長が個人で購入してくれたものを引き続き使用させてもらう。
- ・Zoomの有料版は月1500円。和賀井会長の好意により、1回500円で和賀井会長のアカウントを会として使用させてもらう形です承された。定例会時に費用を持参して、和賀井会長に領収書への記入・捺印をしてもらう形で処理する。（ばあとなあとしても1つしかアカウントがなく取り合いとなっており東京社会福祉士会から借りるのは困難）

- ・会としても Zoom への対応力を上げるため、迫間役員と小暮副会長が加瀬さんにつく形で学んでいく。
- ・加瀬さんから提案された、役員 1 名が Zoom 参加して画面や音声の不具合を伝える役割をしてもらうことについては、会場のロビーで和賀井会長のノートパソコンを借りて 1 名が対応する形とする。不具合はチャットやメールで伝える。
- ・和賀井会長の負担軽減のため、メールでの申込み受付は新美が対応する。

3. 1月定例会について（福田役員）

- ・内容はチラシの通り。講師・遠山さんの所属である新栄会について、葛飾区以外でも生活困窮窓口の受託を受けているため「葛飾区」の記載は削除する。
- ・資料も遠山さんが印刷して持参してくれる。
- ・遠山さんも入れて、Zoom での事前打ち合わせを実施する。

4. 3月定例会について（新美）

担当の中前役員が仕事で参加できないため代理で報告・

- ・児童発達支援・放課後等デイサービスすまいるしーどの濱島さんが講師。ホームページを画面共有して濱島さんの紹介。自身も発達障害の子を育てる親で周囲に支えてもらった経験を生かして、今度は自分が寄り添う側のなりたいと事業所を立ち上げた方。中前役員が子ども家庭支援センターに所属していた時には虐待ケースでもたくさんお世話になった方だと聞いている。
- ・高齢分野の会員が多いため、放課後等デイサービスについてよく知らないと思われるため、法律的な位置づけをはじめとした基本的な説明と現状、利用することでの子どもや親にとっての効果、関係機関と連携した事例（虐待事例や放課後等デイサービスならではの事例）をいくつかあげてもらう形で依頼する。発達障害の子を育てる当事者でもあるため、時間が許せば子育てエピソードを交えてもらうのもよい。

5. 1月23日親族後見人等の集い（社協からの依頼）について（金杉役員）

「成年後見制度の支援者として伝えたいこと～専門職後見人と親族後見人の立場から」

日時：1月23日（土）14時～16時

会場：亀有地区センター

講師：金杉役員、親族後見人のさかい氏

- ・さかい氏が用意している資料のレベルが高い。頑張らないといけない。
- ・講演会の後に情報交換会の時間がある。
- ・現時点で申込みが5名。定員に余裕があるようであれば和賀井会長も参加したい意向。

6. 葛飾区地域福祉活動計画（5カ年計画）策定部会について（福田役員）

- ・3月に地域福祉活動計画が出る。3期分と同じ方向性。活性化させるために、従来は自治会からの参加者中心であったが今回は現に活動をしている人を参加者に加えている。風の子クラブなど。
- ・今回の会議では課題を出し合い、次回は4月。会長は田園調布大学人間福祉学部の先生。社会福祉のことに詳しい先生だった。
- ・交通費3000円の取り扱いについて。費用弁済として支給されるもので公務員も3000円までなら個人でもらっていいとされている。福田役員が個人でもらってよいという結論に。

7. その他

- ・金杉役員より、2022年日本社会福祉士会全国大会東京大会について情報提供。来年の山形大会はZoom参加となる。東京大会ではZoomが1500名、会場が1000名の予定で動いている。会場はこれから探す。大会テーマもこれから検討する。
- ・和賀井会長より、北地区会が記念冊子を作っていたがうちの会も節目の年に作れたら良いのではとの提案あり。冊子を作るにはネタが必要。ホームページのデータも使えそうだが、過去のは簡略化してしまっている。今後のデータ・記録の保存方法も検討が必要。冊子にするには10万円くらいか。今後考えていきましょう。

次回役員会：2021年2月18日（木）19：00～21：00 zoom会議にて開催

※次回役員会では総会・記念講演や来年度の定例会について検討するため考えておいていただけると助かります。ご協力ください。